



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

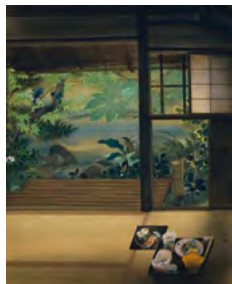
2019
10月号
No. 534



圧倒的迫力の日本画の世界・没後京都初の回顧展 **川端龍子がやってくる**
とき／10月12日(土)～11月24日(日) 9:30AM～5:00PM
ところ／京都府立堂本印象美術館(祝日以外の月曜日と11/5休館)
京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007

一デコラティブな堂本印象美術館 vs ダイナミックな龍子芸術—

東京で活躍した日本画家・川端龍子(1885-1966)は、戦前より「健剛なる芸術」の創造を唱え、伝統に囚われない斬新で豪快な作風を創出したことで知られています。主宰した青龍社は帝展・院展と肩を並べる日本画壇の一大勢力となりました。



「佳人好在」1925年
京都国立近代美術館蔵

このたび堂本印象美術館では、龍子の初期から晩年にかけての代表作を取り揃え、その画業を振り返る展覧会を開催いたします。本展では、龍子が主張した会場芸術の作品、京都を題材にした作品などを展示すると共に、京都にゆかりのある青龍社の画家たちの作品も一部紹介します。龍子と同時代に活躍した日本画家、堂本印象(1891-1975)が建てた美術館で、東の雄である龍子芸術をお楽しみください。



「使徒所行蹟」
1926年 大田区立龍子記念館蔵

西洋近代美術に見る「神話の世界」

とき／10月18日(金)～11月17日(日) 10:00AM～8:00PM
ところ／美術館「えき」KYOTO(会期中無休)
JR京都駅ビル JR京都伊勢丹7階隣接 ☎075-352-1111

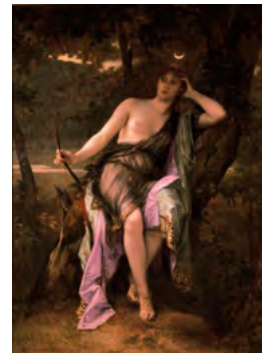
一人々はなぜ、神話の世界に魅せられるのでしょうか—

ギリシャ・ローマ神話は、ルネサンス期以降、古典を教養としていた宮廷人や君主たちに愛され、宮殿や邸宅を飾る美術品の主題として人気を誇りました。市民階級が主役となる近代の社会とその芸術においても、時代の新しい息吹を吹き込まれながら生き続けます。18世紀後半からは遺跡発掘の成果によって古代ギリシャ・ローマの偉大さが再認識され、考古学的趣味の基に古典主題を表現する作品が数多く制作されました。19世紀の美術アカデミーやサロンでは歴史と聖書と並んで最も正当な主題のひとつとされ、前衛美術が興隆する19世紀末以降も、インスピレーションの源として多くの作家を魅了します。



エドワードJ.ポインター
「ヴィーナスの鏡」
1882-98年
群馬県立館林美術館蔵

本展では、18世紀半ばから20世紀にかけての作家を取り上げ、ギリシャ・ローマ神話を主題とする作品を展覧します。コロ、ロダン、ルノワール、ローランサン、ピカソ、デルヴォーなどの、神々や神話的な情景を表した絵画、彫刻、版画の数々をご覧ください。



アレクサンドル・カバネル
「狩の女神ディアナ」
1882年
栃木県立美術館蔵

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭-長刀鉾の名宝-																								祇園祭-四条傘鉾の名宝-			→12/22			
	3F	辰野金吾没後100年 文博界隈の近代建築と地域事業																														
	4F	みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ-線の魔術																								→1/13						
	5F	第42回 藤原百園展	篆刻家 米壽の仕事 小田玉瑛の世界展					モラ・ 刺繍・ ビーズ 宇宙	19 写人展 上田ミチヨソ-インデ 教室発表会			京の名工展																				
	6F					第36回 龍雲会書道展				日本染織作家協会 関西支部展 選抜新人作家展			第35回文化 普通近畿 連合会展			第6回吉田 絃三と手織り 100人展																
別館	京都アートフリー マーケット								音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会	音楽 会
京都学・歴彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	双京 京の夢、江戸の夢 ~館蔵資料に見る、二都の縁(えにし)~ (休館日 10/9、10/14、10/22)																															→11/10

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		企画展「ドレス・コード? -着る人たちのゲーム」																														
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		2019年度 第4回コレクション展 装束：日本のドレスコード・日本の装い：装う人／脱ぐ人																												〈特別展〉流転100年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美 (祝日以外の月曜と10/15、11/5休館)		
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	再整備工事のため、本館閉館中 (別館のみ開館)																														
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	第9回 SYOモデルサロン展 第37回楽書会書展					アートグループ道 作品展2019 第33回京都芸術祭 美術部門国際交流展					新美2019公募展					第74回 新匠工芸会展					第38回 汎具象展										
	2F	京都現代水墨選抜 (墨彩画)					2019青美秋季展 (美術総合)					ハクの会作家展 (美術総合)					第47回京水会丹青展 (美術総合)					第49回 京都写真家協会展										
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	3F	創元会京都支部展 (洋画)															第一美術関西 (美術総合)					京都自由写壇 写真展					彫刻五人展 (彫刻)					
																	三餘会 書展															
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		展示替えのため休館															堂本印象美術館に川端龍子がやってくる -圧倒的迫力の日本画の世界-															
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	彫刻になった生き物たち 十三代三輪休雪 襲名 雪嶺展					中山 忠彦 素描展 - 靄都たる線の女神たち -					開窯五十周年 玄覚 貞光 侘び寂 展					青洲会 日本画展 - 標 - 卒寿記念 人國国宝 井上 萬二 白磁展					卒寿記念 西川 實 作陶展										
大丸 中京区四条高倉 211-8111	アートサロン	立川宏己 (洋画)・中村 信彦 (さいのもと焼) 二人展					堀江春美 日本画展					楠堂葵水彩画展					八木明 陶展					小川裕嗣 作陶展										
	ミュージアム	松尾彩加・黒沼大泰 洋画展～秋の花籠～										村岡顕美絵画展					ミニチュアール 4人展					宮尾昌宏 作陶展										
中信美術館 上京区下立売池小路東入 417-2323		京都中央信用金庫 所蔵品展 ～ 錦秋の季節に～																														
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		秋季特別展 並河七宝への旅 -海を越えて来た人々-																														
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111		ショーン・タンの世界展 ～とんでもないどこかへ～															西洋近代美術に見る 神話の世界															
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401		関西美術院の画家たち展 (月曜休廊)															アート マルシェ					河崎晴生作品展					行動美術 京都作家小品 展					
アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		～花曼茶羅～ 円面軸展																														
アートのスペース繁 左京区北白川通分町1-8 080-5711-7431		常設展																														
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122		土と石で描く板絵 福井安紀個展					SAGA DASH 2019 嵯峨美術 大学 油画・版画 選抜展					松田朋子 日本画展					麻田博子 洋画展 (水彩・油彩)					生動 日本人画 四人展										
アートスペース柚 (ゆう) 東山区二条通東山西入 090-6916-5353		国際交流総合展 徳重くるみ スタンドグラス展 12:00～19:00 (最終日は17時まで)										岩井 哲 展 12:00～18:00 (最終日は17時まで 定休日火曜日)																				
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		貸ギャラリー受付中															着物地から 洋服へ					仮予約										
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		木版画常設展 (貸画廊受付中)																														
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		常設展 (浮世絵、新版画など)																														
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	五月 展	高田志保 展 (陶) (木曜定休)															水野幸一 (陶) × みずのみさ (ガラス) 二人展 (木曜定休)															
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083		三人展 芦田芳生・田中勇次郎・西岡義一					洋画/日本画常設展 (日祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙邨・熊谷守一 他																									
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996		日本画・洋画常設展																														

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

時代の証言者

MARC RIBOUD展

と き／9月3日(火)～10月27日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／何必館・京都現代美術館 (祝日以外の月曜休館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

このたび「時代の証言者 MARC RIBOUD展」を開催いたします。

マルク・リブー (1923～2016) は、フランスに生まれ、1950年代から世界中で精力的な活動を続けた、現代を代表するフォトジャーナリストです。写真家集団「マグナム」の創始者、アンリ・カルティエ＝ブレッソンやロバート・キャパらの同志であり、50年代のアフリカ独立運動、60年代のベトナム戦争など激動の時代に立会い、西側の写真家として初めて中国の取材にも成功しました。その作品は、米誌「N.Yタイムズ」「ライフ」、英誌「タイムズ」、仏誌「フィガロ」、独誌「シュテルン」、日本の新聞・雑誌など、世界各国の紙面を飾ってきました。

彼は一貫して、自分から興味を持った場所を取材するために長期間滞在し、混沌とした現実から、ひとつの秩序ある瞬間を切り取ってきました。本展は、マルク・リブーの1950年代から半世紀にわたり撮影された作品の中から厳選したオリジナルプリント約60点を展覧いたします。

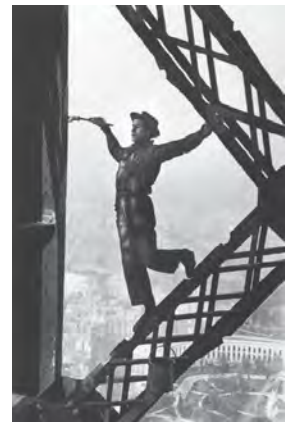
是非ご高覧下さい。

○記念出版『マルク・リブー写真集』 3,200円

www.kahitsukan.or.jp



「ジャン・ローズ、ワシントンD.C.」
1967年



「エッフェル塔のペンキ工、パリ」
1953年

[新入会画廊紹介]

ギャラリー Space 妙
Gallery Space Mjo

所在地：〒606-0945 京都市左京区松ヶ崎堀町1-1
TEL：090-6605-0656 URL：https://www.spacemjo.net/
E-mail：space.mjo@gmail.com
代表者名：坂西友子 画廊区分：貸画廊
営業時間：11:00AM～7:00PM 定休日：木曜日
貸料金：30,000円(1週間)



京都洛北松ヶ崎に、2014年夏貸ギャラリー「space 妙」をオープンいたしました。名前の「妙」には思い入れがあります。この地区は「五山の送り火」では「妙・法」の「妙」を担当している町内です。世間の目を気にせずに生きる事の難しい世の中ですが、自分の価値観を信じて生きていきたい方々に利用して頂ければ幸いです。このギャラリーが、それぞれの価値観に共感出来る人々が出会える場になることを願っています。

吉田 誠展10月11日(金)～10月16日(水)

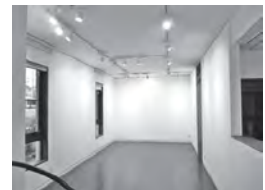
私は、長きにわたりtensionをテーマにして、作品を作ってきた。一応織という手段を使っているが、極力織るといふ部分を少なく、たて糸を生かす手法をとっている。織るときに、ステン棒を織り込んで、それを円形にしてふくらみを持たせたり、たて糸を束ねくくることで、糸の表情を変えてみたりして、糸が持っているいろんな表情を引き出そうと試みている。今回は、紙の糸を使って部分をインジゴで藍染めをして、色的にも動きを出そうとしてみた。(吉田 誠)

吉田誠略歴

- 1977 京都市立芸術大学専攻科染織専攻修了
- 1976～ ギャラリー16(京都)を皮切りに個展多数
- 1978 WCクラフトコンペ京都(京都市勤業会館)現代の工芸作家展(京都市美術館)
- 1980 ファイバー・アズ・アート展(マニラメトロポリタン美術館)
- 1985 第12回国際タピスリービエンナーレ(スイス ローザンヌ州立美術館)
- 2010 第7回アジアファイバーアート展(中国 北京)
- 2011 AUF/OKINAWA熱風造形展(沖縄 浦添市美術館)
- 2014 第10回アジアファイバーアート展(沖縄 宮古島)
- 1992～2016 集団「AUF」展(京都市立美術館 沖縄 韓国等)



吉田誠作品



京都市営地下鉄「松ヶ崎」駅①番出口 東へ徒歩5分

叡山電鉄「修学院」駅 西へ徒歩12分

Pは有料駐車場をご利用ください

黒須信雄 新作展 「虚空見」

と き／9月21日(金)～10月12日(土) 1:00PM～7:00PM
ところ／ギャラリー宮脇(日・月休廊)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

物質性を強く発する黒須信雄(1962年生まれ、多摩美大油画卒、東京在住)の絵画は、一方でその本性がまるごとどこかへ隠れ伏し、虚空に生滅している。虚空を見るときは一体どういうことか?見ようとするが見えないのに、見ないでいると見えてくる、あの感覚はなんなのか?このようなとき、絵画はまるで幻である。実をもって虚を表し、虚を通して実の如しを表す、黒須信雄の絵画がここに“顕現”する。

このような物質を通してしか現れないにもかかわらず、非物質の世界を表す「顕現としての絵画」を追究してきた作者。驚異的なまでに丹念に描き上げられた蠢くような反復増殖の造形的文様は、見る者に眩暈を引き起こし、且つ見る者の意思することを強く喚起する。

本展は、2年振り2回目の個展で、連作「虚空見(そらみつ)」を主とする新作絵画を発表。素描と木彫も加え全30点出品。存在の彼方を透視する観念世界への思索をさらに深める作者のテキストを掲載したパンフレット発行。

〈10月4日・5日作者在廊〉

次回イベント予告:

10月26日(土) 5:00PM～「洋画家・奥田仁を偲ぶ夕べ」

ギャラリートーク・飯島章仁

(岡山市立中央図書館学芸副専門監)

11月2日(土) 3:00PM～

「風土からのアート～土と水と風と」

予約制講演会

巖谷國士(明治学院大学名誉教授)、

ゲスト・伊勢崎淳(備前焼人間国宝)、

福田淳子(現代美術家)



「於母蛇流(おもだる) No.8」 27.5×19cm



「神楽良(ささら) No.8」 27.5×19cm



「虚空見(そらみつ) No.2」 65×33.5cm

e・g・g・o 0072

黒沢理菜 個展 「夢のいりぐち」

と き／10月10日(木)～10月19日(土) 10:00AM～6:00PM
ところ／大雅堂1F展示室(会期中無休)
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

このたび、上記の展覧会を開催する運びとなりました。黒沢理菜先生は漆を用いて蒔絵や螺鈿などの装飾技法で制作をしています。自作の球体関節人形に蒔絵を施した作品やふんだんに螺鈿を施した重箱を作成するなど、新しい漆芸の可能性を探求しています。是非この機会にご高覧くださいませ。

【展覧会に向けた作家のコメント】

新作の重箱(タイトル未定)は、重箱のイメージを変えるような鮮やかな彩りと、和食以外にも使いたくなるデザインを目指しました。紙の箱に漆を塗って加飾した小箱シリーズ(4点)は、紙という素材が漆と結びつくことによってかたく強くなり、特別な小箱になりました。

展示を見に来てくれた方にとって、漆という素材の可能性を感じるきっかけになることを願っています。

黒沢理菜略歴

2016年 京都市立芸術大学 卒業作品展 奨励賞 受賞

SUNABA GALLERY グループ展「SUNABA POP」

石川県輪島漆芸美術館「漆芸の未来を拓く 生新の時2016」

ギャラリー恵風 内海紗英子、黒沢理菜二人展「Story×Story」

SUNABA GALLERY グループ展「新日本綺行」

京都市次世代工芸展 morgenrot賞 受賞

2017年 京都市立芸術大学作品展

2017年 SUNABA GALLERY 黒沢理菜 漆芸作品展「感情をなぞる」

KUNST ARZT 黒沢理菜 漆芸展「ひかりの登」

2018年 art space morgenrot 複合展「漆で寿ぐ2018」

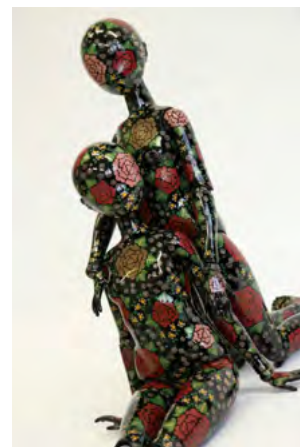
京都府新鋭選抜展 日本経済新聞社京都支社賞 アンスティチュ・フランセ関西賞 受賞

京都市立芸術大学修了制作展 大学院市長賞 受賞 作品買い上げ

2018年 石川県輪島漆芸美術館「漆芸の未来を拓く 生新の時2018」

大雅堂「±複号の彫刻家たち展 vol.2」

2019年 南青山morgenrotギャラリー「漆で寿ぐ」



黒沢理菜「月子」

沢田一葉・レオナルド・バルトリーニ 陶展 ～ふたりの風景～

と き／10月11日(金)～10月23日(水) 10:00AM～6:00PM
ところ／京都陶磁器会館2階ギャラリー (木曜日休館) 京都市東山区東山五条上ル遊行前町583-1 ☎075-541-1102

沢田一葉さん、レオナルド・バルトリーニさんのご夫婦展を開催いたします。おふたりとも、風景から着想を得て制作されています。一葉さんは、自然の風景や動物、人などとの関わりによって変化する、ご自身の心象風景を作品に投影されます。

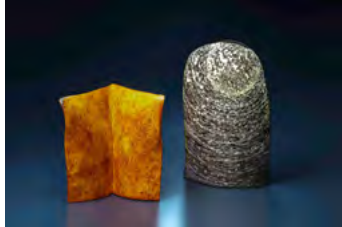
レオナルドさんは、古代の遺跡や風土から着想を得て、「テラシジラータ」という紀元前のイタリア・ギリシャで使われた装飾技法を用いて制作されています。

本展では、それぞれの作品をはじめ、花器や酒器、食器などを展覧いたします。

おふたりがそれぞれ創り出す「風景」の世界をお楽しみ下さいませ。

沢田一葉(さわだ・いちよう) 陶歴

- 2005 第54回ファエンツァ国際陶芸展入選
- 2007 西日本陶芸展選抜30人展に選出
- 2015 第112回有田国際陶磁展 文部科学大臣賞
- 2017 日工会展 内閣総理大臣賞
第31回京都芸術祭国際交流総合展 京都府知事賞
Leonardo Bartolini (レオナルド・バルトリーニ) 陶歴
- 2005 第7回国際陶磁器展美濃
入選
- 2008 イタリア・トリノ 陶芸
コンクール
Lucio De Maria 1等賞
- 2015 第59回ファエンツァ
国際陶芸展入選
- 2017 スペイン 第13回
マニセス国際陶芸展
- 2018 第115回有田国際陶磁展
有田市長賞



右「月をめぐる」沢田一葉
左「altrove」レオナルド・バルトリーニ

第62回京陶人形展

と き／10月25日(金)～10月30日(水) 10:00～6:00PM
ところ／京都陶磁器会館2階ギャラリー (木曜日休館) 京都市東山区東山五条上ル遊行前町583-1 ☎075-541-1102

〈出展者〉

- ・小田晋司
- ・小田雅宏
- ・島田耕園
- ・土田博之
- ・(株)リュウコ堂

主 催

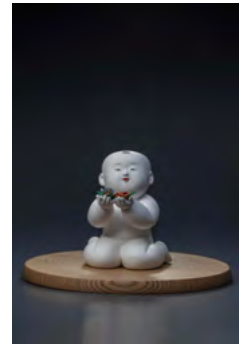
一般財団法人
京都陶磁器協会・京陶人形工芸協同組合

後 援

京都府・京都市・京都商工会議所・京都新聞、
KBS京都

出品内容

参加作家による1部作品
(新作)及び、旧作品
縁起・干支物即売コー
ナーあり



「はな」島田耕園 作

日下部直起展 ～蒼の記憶～

と き／10月29日(火)～11月3日(水)
ところ／ギャラリーヒルゲート
京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-3702

この度、京都のギャラリーヒルゲートで個展を開催致します。ヒルゲートでは2年おきに開催して今回が10度目となります。

今回は「蒼の記憶」という副題で、私を感じた「蒼」のイメージを表現してみました。イタリアの海は、遠ざかるほどに蒼くなります。空気の乾燥した空は突き抜けるような蒼です。そのような蒼とアンティークなモノたちの出会いから、より深められた蒼は創造の源となっていきました。

中世のたたずまいを残したイタリアの風景と、アンティークな静物との融合。そこから甦っていく静謐な時と蒼のイメージを感じて頂けたらと思います。

油彩作品200号～小品まで30点、水彩スケッチ10点の、合計40点出品予定です。

日下部直起

日下部直起略歴

- 1959年 京都に生まれる
- 1982年 金沢美術工芸大学油絵科卒
- 1987年 二紀展初入選以後毎年('93奨励賞、'96優賞、'97二紀賞、'99同人優賞、'01宮本賞、'02損保ジャパン美術財団奨励賞、'05会員賞、'11会員優賞)
- 1995年 東京セントラル美術館油絵大賞展 佳作賞
- 2000年 伊豆美術祭展 (IZUBI) 佳作賞('01佳作賞、'02佳作賞)
- 2004年 文化庁芸術家在外研修 (フィレンツェ)
- 2006～10年 LIONCEAUX展 (日本橋三越本店)
- 2008年 Proposte dal Giappone 展 (ミラノ、Galleria Schubert)
- 2009/12年/18年 日下部直起洋画展 (日本橋三越本店)
- 2013/15年 La luce nel tempo 3人展 (フィレンツェ、Luzart Gallery)
- 2018年 La luce nel tempo 3人展 (フィレンツェ、Accademia)
- 現在 二紀会委員



「暁への追慕」 50号F
明るく・青く

明治・大正・昭和名作発掘品展 ～秋～

と き／10月1日(火)～10月26日(土) 10:30AM～6:00PM
 ところ／星野画廊(日・月休廊)
 京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

気候変動のせいなのか、日本から四季の彩りが年々薄れてゆくのが残念で恐ろしくもあるのです。流石の異常気象であっても10月の声を聞けば少しは秋らしい気候が楽しめるのではないだろうか、でないとしても、せめて美術の世界に息づく秋の気配を名画と共に鑑賞していただければ、そのような想いから作品を選別して見ました。

まず近年再評価の動きが急な異色の日本画家・不染鉄(1891-1976)の「秋声」(1919=大正8年頃)に注目していただきます。世間の名誉欲から無縁の世界に生きた画家の心境が描かれた名作です。明治期日本画壇で破天荒な生き様を示した鬼才・久保田米僊(1852-1906)が描いた「明治天皇車駕東遷図」も珍しい作品。明治元年、明治天皇は東京行幸の途中に立ち寄った熱田神宮近くの農村における収穫風景をご覧になった、その時の光景を描いたもので、軸装や箱の豪華さも直接ご覧いただけます。秦テルヲ(1887-1945)の「収穫之図」は瓶原時代に描かれた平和な農村の風景。京都出身の異色日本画家といえば玉村方久斗(1893-1951)を忘れることが出来ません。「旅僧仰富士図」は西行法師の旅姿に画題を得たものです。洋画の作品から福井勇(1980-1988)が得意とした「柿の図」の佳作を、黒田重太郎(1887-1970)が旅先の蛸子で描いた富士遠景図を。そしてより多彩で楽しめる様々な日本風景の秋を彩る名画が美術愛好家の方々のご来訪をお待ちしています。



不染鉄
「秋声」

久保田米僊
「明治天皇車駕
勅撰之図」

秦テルヲ
「収穫之図」



玉村方久斗「旅僧仰富士図」



福井勇「柿の図」
1970年 油彩6号



黒田重太郎「蛸子の初秋」
1960年 油彩8号

流転100年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美

と き／10月12日(土)～11月24日(日) 9:30AM～6:00PM
 ところ／京都国立博物館(祝日以外の月曜日と10/15、11/5休館)
 京都市東山区東山七条 ☎075-541-1151

36人の優れた和歌の詠み人「歌仙」を描く三十六歌仙図は、鎌倉時代以降数多く描かれてきた。中でも名品中の名品と称されたのが、旧秋田藩主・佐竹公爵家に伝わった佐竹本と呼ばれる「佐竹本三十六歌仙絵」である。かつて2巻の絵巻物だったこの作品は、1919(大正8)年に売りに出された。ところがあまりに高額なために買い手がつかず、海外への流出も危ぶまれた。事態を憂慮した経済界の重鎮でコレクターだった増田鈍翁を中心に、当代一流の財界人や茶人らが一歌仙ずつに切断して共同購入することになった。驚くことにそれぞれがくじ引きで新しい所蔵者となったのである。

絵巻切断から100年。その間に起きた戦争、高度経済成長、バブル景気、激動の日本近現代史の片隅で、多くの「佐竹本三十六歌仙絵」がその所有者を変えていった。離れ離れとなった絵巻の断簡のうち本展に出品予定の作品は合計31点。過去最大の規模である。分割された歌仙絵は、それぞれの所有者によって趣向を凝らした表具が施され、掛け軸に仕立てられた。本展でそうした伝統の技を楽しむのも一興。

なお本展では、国宝〈三十六歌仙家集〉をはじめ、平安・鎌倉時代の和歌や河川に関わる美術品が数多く出品されている。元号が令和に変わり、日本古来の文化が見直されている中で、華やかな王朝美術の至宝が堪能できる。



重文「佐竹本三十六歌仙絵(部分)小大君」
大和文華館蔵(11月6日～24日展示)



重文
「佐竹本三十六歌仙絵 坂上是則」
文化庁蔵(通期展示)

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
				火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
企	画廊 えんじゅ	貸画廊受付中																																			
企	画廊 後素堂	貸画廊受付中																																			
企	画廊 たづ	日本画常設展(日・祝休廊)																																			
貸	ざおんギャラリー八坂	シルバーと七宝 秋の新作アクセサリー展 安部和美						Color & Patterns -ひと、もよう展- 西野智輝						京都造形芸術大学日本画 3年生グループ展 代表 伊賀 帆乃香						洋服と アクセサリー 廣瀬光美						→11/17											
貸	喜間堂アトスペース余花庵	一色生子 個展(染織)						池端邦輔 個展(油画)						第24回早蕨会書展						NUBIJIN 個展 (韓国ヌビ服・キルト)						京都工芸繊維大学 中野研究室 伝統の虫 vol.12						→11/3					
企	ギャラリー 梧桐	常設展示																																			
貸	ギャラリー M	船旅とニース展(エーゲ海、地中海) (松本祐佳)																		時代祭展 (松本祐佳)																	
企	ギャラリーかものがわ	貸ギャラリー受付中																																			
貸	ギャラリー 祇園小舎	第2回 能町孝司 個展						第27回 染めと織り in 祇園						第15回京陸展						神無月 小梅会						→11/3											
貸	ギャラリー 吉象堂	街道展						いのぼんば展 (日本電池OB絵画)						同志社大学スケッチ クラブOB展						平岡康次 写真展						グループ 万華鏡						→11/3					
貸	ギャラリー Create洛	玉井人道 日本画展 (日本画)						かずこ展(油彩画)						山口実展(油彩画)						井上仁展(洋画)						鶴田憲次 門川昭子 二人展(洋画)						→11/3					
企	Gallery G-77	渡邊 野子 展 「愛について、怪物のような。」「About Love, Like a Monster」(月曜休み 14:30~19:00)																		有本健司 展「What is nature?」 (月曜休み 14:30~19:00)																	
企	ギャラリー K																																				
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
				火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
貸	ギャラリー 恵風	1F 茂莉希美 展(平面)								鳥井雅子 展(平面) 10/14(月) 休廊						「19人の木版画展」 (平面)						林正巳 展 (平面)						→11/3									
		2F 山本桂右 展(リトグラフ・平面)								内田真理 展(平面) 10/14(月) 休廊						石橋佑一、齋藤藤太、佐竹宏 樹・牧野浩紀・川村沙耶佳・他						国際交流総合展 ミニアチュール展															
貸	ギャラリー 佐野	貸ギャラリー受付中																																			
企	ギャラリー 三條祇園																																				
企	ぎやらりい 思文閣	常設展																																			
企	ギャラリー 白川	『在り方、現れかた』 2019大野浩志展 (造形と平面) 12:00~18:00(月曜休み)																																			
貸	ギャラリー 翔	Marry's Art展 (36人の絵画)						那須延明 油彩画展						日本画 醉芙蓉 (日本画教室展)						川端英一 御器楽音陶展 (カップ・皿 他 陶器)						橋高美保子 作品展						→11/3					
貸	ギャラリー 16	小林 椋 個展「ソテツとてつもなく並」 (インスタレーション 月曜休廊)						倉 涵 逸 展 CHAN HAN YI Exhibition 「Between あいだ」 (インスタレーション)						坂口裕美 展 Yumi Sakaguchi Exhibition 「雨より冷たく」平面 (絵画)						佐々木 よし明 展 (絵画 月曜休廊)						→11/9											
貸	ギャラリー Space 妙	常設展						吉田誠展 (染、織)						常設展																							
企	ギャラリー 創	日本画・洋画・古書画常設展																																			
貸	ギャラリー 象鯨	常設展(貸ギャラリー受付中)																																			
企	ギャラリー TAJIRO	水 墨 画		森内都 フォークロアな切り絵						絵 画 教室		Atelier Saulet 作品展						絵 画 教室		水 墨 画		第4回 黒川しづこ 透明水彩画展						→11/3									
企	ギャラリー 鉄齋堂	常設展 近代の軸装・額装 (10/6、10/9、10/18、10/19、10/28、10/29 休廊)																																			
貸	ギャラリー 富小路	茶箱の小宇宙 Kyoto 2019 秋展 「ハート・真言・抹茶あそび」																																			
企	ギャラリー なかむら	市川博一展(陶芸)						佐野 賢展(彫刻) (月曜休廊)																		→11/10											
貸	ギャラリー 中井	富永成風展「祈」 (11時~18時 最終日16時まで)						「現代の名工 秋山真和・綾の手袖作品展」						藤喜さんちの一文展						能面花心展(玄正会) 日本能面美術協会						高谷光雄 展						→11/3					
企	ギャラリー 白梅園	白崎子子 ガラス作品展																																			

『短信』京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
		火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	②	火	水	木	金	土	①	②	月	火	水	木	金	土	①	②	月	火	水	木
① 貸 企 ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	谷なつ子展(ミクストメディア)					勝山正則制作60年展					三橋卓展(日本画)					入佐美南子展(二科)					日下部直起(油、テンペラ)												
	2F	岸中延年版画展 ENNEN FACTORY					上杉尚展(水彩他)					たくまたえ子油絵展					佐々岡まゆ子個展																	
① 企 ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展																																	
① 貸 企 ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	サイアノタイプ展										吉原 和恵(平面)										新田 健(平面)												
	4F	室田 泉(テキストイル)(月曜休廊)										(仮) 精華大学テキストイルコース(月曜休廊)																						
	5F	久世 建二(陶オブジェ)(月曜休廊)																																
① 貸 企 ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	高友会日本画展					松本真那和 個展					糸壘林(ちやくじりん)					ひまわり会					豊旗会(とよはたかい)													
① 貸 企 ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	河井一喜・陶展					装展…風間紀子・アトリエ季・Kagariが作る秋の服(月曜日定休)										寄神盛衛・BAG展(月曜日定休)																		
① 企 ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	陶芸作品常設展																																	
① 貸 企 ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	“龍馬と酢家”常設展(10:30~17:00水曜休廊)																																	
① 企 ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	桐村 茜 版画展(10/9(水)休廊)										常設展(水曜日休廊)																							
① 企 ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	黒須信雄新作展「虚空見」															風土からのアート 奥田仁・伊勢崎淳・福田淳子																		
① 貸 企 ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	天田 毅 青白磁陶芸&アンティークマイセンカップ&ソーサー展(10/7(月)、10/15(火)、10/21(月)、10/28(月)休廊)																																	
① 企 現代美術 艸居 東山区門前大和大路東入 746-4456	Sara flynn(磁器)	常設展										畠山耕治・上田剛・水代達史 留守玲4人展(日・月休)										常設展												
① 貸 企 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸ギャラリー受付中																																	
① 企 京都芸大ギャラリーアクア 中京区御池通堀川東入 253-1509	京都市立芸術大学資料館収蔵品活用展「Still moving library」(月曜休館)																																	
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
会場	日曜	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	②	火	水	木	金	土	①	②	月	火	水	木	金	土	①	②	月	火	水	木
① 企 京都芸術センター 中京区室町端薬師下ル 213-1000											アーティスト・イン・レジデンスプログラム2019 成果発表展(J. Triangular: kyoto Makai)																							
① 企 京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	番組小学校の軌跡-京都の復興と教育・学区-その③「発展」(水曜休館)																																	
① 貸 企 京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F[月]	Kosuke Hamada《The Laundries》					村松正&大川春雄《光と陰のいざない》					金光海“Orum”					滝原逸郎《華厳》																	
	1F[雪]	常設展										常設展					梅垣 剛司 写真展																	
	2F[花]	清永安雄《6%》										Dirk Lambrechts《I am this》																						
① 企 京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	片山雅美 陶展-赤を求めて-(無休)					小垣 和子 陶展 彩-いろどり-(木曜休館)					川寄貴生 陶展(木曜休館)																						
	2F	林康夫 陶展-五条坂より-(無休)					沢田一葉 レオナルド・バルトリーニ 陶展 ~ふたりの風景~(木曜休館)					第62回京陶人形展(木曜休館)																						
① 貸 企 京都万華鏡ミュージアムアールスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	私の手仕事2019										京都市退職校員協会 北・上京・左京支部 作品展					第25 京都漫画会 グループ展																		
① 貸 企 堺 町 画 廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	アキノイサム展 絵本「ブンクマインチャ」 原画(日本画)他					上 映 会 アトリエ京都と フリカカのカネ					HALLE LUJAH展					大黒 浩子 展 (猫がいる日常)					橋本明子 日本画展													
① 貸 企 里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																																	
① 企 蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展(日祝休廊(10/6、10/13、10/14、10/20、10/22、10/27))																																	
① 企 大 雅 堂 東大路通福園上ル 541-7388	常設展										e.g.g.o 0072 黒沢理菜 個展「夢のいりぐち」					常設展																		
① 企 梅 軒 画 廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510	日本画・洋画常設展																																	
① 貸 企 ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533	久保 良裕 陶芸展										-染-金井大輔-漆-宮木 康 工藝二人展					国際交流 選抜展																		
① 企 星 野 画 廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品「秋」(日・月休廊)																																	
① 企 松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626	新・古書画常設展																																	
① 企 村 田 画 廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	常設展(火曜日・祝日・10/20(日)休廊)																																	

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>
(京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中) 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。